

【福岡女学院教会 主日家庭礼拝】

2025. 1. 5.

新年礼拝

降誕節 第2主日

黙想(黙禱)

招詞 「キリスト・イエスは、罪人を救うためにこの世にきて下さった」  
という言葉は、確実で、そのまま受け入れるに足るものである。  
(『讃美歌21』93-1-21)

讃美歌 431 (喜ばしい声ひびかせ)

主の祈り

讃詠 28 (み栄えあれや)

聖書 エレミヤ書 31章15節～17節  
(旧約 1235頁)

信仰告白 使徒信条

メッセージ 「あなたの未来に希望がある」 多田玲一牧師

祈禱 ※それぞれ自由にお祈り下さい

讃美歌 278 (暗き闇に星光り)

頌栄 29 (天のみ民も)

黙想(黙禱)

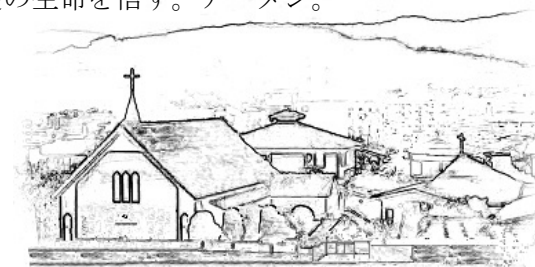
◎ 讃美歌は歌詞を読むだけでも結構です。

【主の祈り】 (『讃美歌21』93-5-A)

天にまします我らの父よ、ねがわくはみ名をあげさせたまえ。  
み国を来(きた)らせたまえ。  
みこころの天になるごとく 地にもなさせたまえ。  
我らの日用(にちよう)の糧(かて)を、今日も与えたまえ。  
我らに罪をおかす者を我らがゆるすごとく  
我らの罪をもゆるしたまえ。  
我らをこころみにあわせず、悪より救い出(いだ)したまえ。  
国とちからと栄えとは 限りなくなんじのものなればなり。  
アーメン

【信仰告白 使徒信条】 (『讃美歌21』93-4-A)

我は天地の造り主、全能の父なる神を信ず。  
我はその独り子、我らの主、イエス・キリストを信ず。  
主は聖霊によりてやどり、処女マリヤより生れ、  
ポンテオ・ピラトのもとに苦しみを受け、  
十字架につけられ、死にて葬られ、陰府にくだり、  
三日目に死人のうちよりよみがへり、  
天に昇り、全能の父なる神の右に坐したまへり、  
かしこより来りて、生ける者と死ねる者とを審きたまはん。  
我は聖霊を信ず、聖なる公同の教会、聖徒の交はり、罪の赦し、  
身体のよみがへり、永遠の生命を信ず。アーメン。



日本基督教団 福岡女学院教会

牧師 多田玲一

協力牧師 青木麻里子、大島一利

〒811-1321 福岡市南区柳瀬1丁目41-32

TEL 092-591-5627 (Fax 兼)

教会ホームページ [http:// www.fukujoch.com/](http://www.fukujoch.com/)

(教会創立 1946年6月2日)



1月 5日 エレミヤ書 31章15節～17節

◆新しい契約

- 15 主はこう言われる。ラマで声が聞こえる／苦悩に満ちて嘆き、泣く声が。ラケルが息子たちのゆえに泣いている。彼女は慰めを拒む／息子たちはもういないのだから。
- 16 主はこう言われる。泣きやむがよい。目から涙をぬぐいなさい。あなたの苦しみは報いられる、と主は言われる。息子たちは敵の国から帰って来る。
- 17 あなたの未来には希望がある、と主は言われる。息子たちは自分の国に帰って来る。

※聖書は本文は全て、日本聖書協会『聖書 新共同訳』